

第330号 平成24年9月

東京都農業会議情報

編集及び発行 東京都農業会議

渋谷区代々木2-10-12
TEL 03-3370-7145

建議の実現に向け東京都へ要請

東京都農業会議

都農業会議は9月18日、東京都に対する建議を行いました。

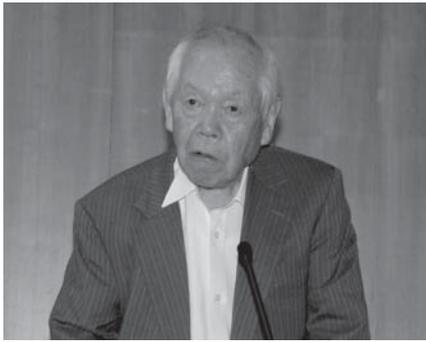
平成23年度事業報告・歳入・歳出決算など承認

東京都農業政策に関する建議など決定

第111回東京都農業会議通常総会

都農業会議は、8月17日に南新宿ビルで会議員48人の出席を得て、第111回通常総会を開きました。

議案は、①東京都農業会議員の辞任の承認、②同会議員の選任(青木榮氏、全農東京、清水武男氏、経営者クラブ)、③平成23年度事業報告の承認、④同歳入・歳出決算の承認、⑤平成24年度歳入・歳出予算の一部修正、⑥東京都農



挨拶を述べる波多野会長

島しょ農業の活性化施策に関する要望など決議

島しょ農業委員会協議会

島しょ農業委員会協議会(土屋博会長)は、このほど第25回島しょ農業委員・農業者大会を開き、40人が出席しました。

島しょ農業の活性化を支える施策に関する要望を決議しました。

「農業委員会活動推進フォーラム」を開きます

都農業会議は11月20日午後1時30分より、府中市生涯学習センターにおいて「農業委員会活動推進フォーラム」を開きます。

「継続性のある農業経営の確立と、東京の農地保全

をめぐして」をテーマに、農水省や国交省の担当者や、都市農業・農地の保全施策などについて講演を行います。

多く方のご参加をお待ちしております。



津国農林水産部長(左)に建議を手渡す波多野会長(中央)と肥沼副会長(右)

また、都農業会議より「島しょ農業振興と農業委員会活動」について、各農業委員会より「島民とともに育てる我が島の農業と活動」について、それぞれ説明と報告を行いました。



挨拶を述べる土屋会長

あぜみち

自民党の都市農業研究会(石原伸晃会長)が「都市農業基本法」について研究している▼平成18年度の農委農業者大会から要望を続けている「都市農業基本法」がいよいよ議論されはじめた▼そもそもこの要望の基本は平成11年の食料・農業・農村基本法で「都市周辺の農地」と記載されたことに遡る▼農水省は「都市は開発された所農地は開発されていないので『都市周辺』には市街化区域内農地が含まれる」と説明した▼その後の経緯で「都市及びその周辺の農地」と記載されることになったが、この説明では「都市農地」は存在しない▼日本は古来から都市と農業・農地が混在して発展し、独自の循環型社会を形成してきたが、これは誇るべき日本の文化である▼来たるべき都市計画法改正では「農業のある街づくり」を実現しなければならぬ。

東京都農業政策に関する建議要旨

1. 認定農業者に対する支援体制の強化

区市町村が行う認定申請個別相談会や経営改善計画を実施するための相談活動、区市町村独自の支援事業等を積極的に後押しするため、認定農業者への支援体制をさらに強化するとともに、「認定農業者支援対策室（仮称）」を設置し重点的な対応を図ること。

2. 目標が認定農業者の指標に達しない農業者に対する支援強化

区市町村は、認定農業者を目指す経営水準には未だ達し得ない経営であっても、意欲をもって農業経営を行っていたり地域農業の担い手として位置づけている。

これら農業者を支援するため、都でも区市町村の取組に対して積極的な支援を行うこと。

3. 規模拡大を図る認定農業者の支援と農地の遊休化の防止

農地リフレッシュ再生事業については、地域の実情を踏まえた柔軟な運用と予算の拡充を行うこと。

さらに、都内では活用が難しい国の「農地集積協力金」の趣旨に基づき、農業者が高齢化や労働力不足等を理由として農地の貸し手となる場合には、「農地利用促進協力金（仮称）」を交付する事業を創設すること。

4. 東京版の認定農業者経営指標の作成

(1) 作目別指標の作成

経営改善計画の作成を支援するとともに、認定農業者が自ら技術水準や経営改善の達成度をはかることができるよう、主要な作目ごとの標準収穫量や投下労働時間を示す指標を作成し公開すること。

(2) 経営改善チェックシート（東京モデル）の作成

認定農業者が自ら経営改善計画の達成度を確認できるチェックシートの東京版モデルを開発する必要があることから、都担い手育成総合支援協議会と連携してその作成に取り組むこと。

(3) 家族以外の労働力を導入し経営発展を図ろうとする認定農業者への支援

収益を向上させるために家族以外の労働力を導入しようとする農業者を積極的に支援するため、雇用活用型の農業経営モデル指標を作成すること。

都市農業・農地を巡る課題など示す

農水省「都市農業の振興に関する検討会」中間とりまとめ

農林水産省は、このほど「都市農業の振興に関する検討会」の中間とりまとめを公表しました。

「中間とりまとめ」は、社会・経済状況や防災の観点など広い視野に立ち、都市の農業・農地の現状を整理し、直面している課題を掲げています。

都市の農業・農地への国民的コンセンサスの醸成の必要

常任会議員だより

第5回常任会議員会議

平成24年8月17日に開催し状況は次のとおり。

議事

農地法の規定に基づく知事諮問は、4条4件1460㎡、5条6件3007㎡について審議し、許可相当と答申する旨決定した。

第6回常任会議員会議

平成24年9月18日に開催し状況は次のとおり。

議事

農地法の規定に基づく知事諮問は、5条4件957㎡について審議し、許可相当と答申する旨決定した。

協議

①平成25年度東京都農業会議事業・予算の構想について協議し、11月7日開催の区市町村賛助員協議会に提出することとした。

②農業委員会活動推進フォーラム開催要領（案）を協議し、11月20日（火）に「継続性のある農業経営の確立と、東京の農地保全をめざして」意欲ある認定農業者等と農業委員会・消費者が共に築くをテーマに府中市生涯学習センターで開催することを決定し、多数の参加をお願いすることとした。（内容1面）

当面の農政問題

認定農業者等担い手対策の推進に向けた重点活動として、制度啓発、区市町村独自支援策の創設、認定農業者の組織化、意見交換会・研修会・講演会の開催、再認定の推進などを進めることとした。

新規就農希望者経営計画支援会議の取り組みや、民主党の農林水産部門会議および都市農業ワーキングチームについて、また自民党の都市農業研究会や、各政党の農業に関する動向について報告した。

国土交通省の都市計画制度小委員会が中間とりまとめとして公表した「都市計画に関する諸制度の今後の展開について」の概要と、農林水産省が行った平成25年度農林関係税制改正要望事項、および平成25年度農林水産予算概算要求のポイントを説明した。

東京都農作物生産状況調査結果概要

都農業会議は、東京都の委託を受け、平成22年産の東京都農作物生産状況調査をとりまとめました。

本調査の実施にあたりましては、調査対象者各位はもとより、農業委員会をはじめ区市町村、JA、関係機関より多大なるご協力をいただきましたこと、あらためてお礼申し上げます。

また、本調査は、平成19年産以降、毎年、実施しているものです。

本年度につきましても、本調査の実施につきましてご協力を賜りますこと、あらためて、お願い申し上げます。

ここで、調査結果の概要などを報告します。

【調査名】
東京都農作物生産状況調査
(平成22年産)

【調査対象期間】
平成22年1月～12月

【調査対象区市町村】
49区市町村

(農地のある都内区市町村 ※北区を除く)

【調査対象者】
農業経営面積10アール以上

の農家。もしくはそれに準ずる農家

【対象作物】

野菜・花き・果樹・穀類・
工芸作物・植木・グランドカバー

【調査項目】

作付面積、出荷量(花きなど)、生産本数(植木)など

【調査状況】

① 調査対象者

1万5千392戸

② 調査回収

1万1千280戸(回収率約73・2%)

③ 有効回答

1万709戸(有効回答率約69・5%)

【調査結果概要】
東京都全体・地区別・区市町村ごと

① 農業産出額Ⅱ4ページに掲載

② 農業産出額順位(野菜・果樹・花き・工芸作物のみ対象)Ⅱ4ページに掲載

③ 作付のべ面積Ⅱ4ページに掲載

④ 主要野菜作付面積・収穫量(東京都全体・地区別)Ⅱ3ページに掲載

都内主要野菜作付面積・収穫量(地区別)

東京都全体			特別区計			西多摩計		
品目	面積(ha)	収穫量(t)	品目	面積(ha)	収穫量(t)	品目	面積(ha)	収穫量(t)
こまつな	465	8,960	こまつな	245	4,669	ばれいしょ	70	1,450
ほうれんそう	331	3,836	キャベツ	64	2,675	とうもろこし	46	429
ばれいしょ	299	5,937	えだまめ	55	524	だいこん	37	1,614
だいこん	245	10,259	ブロッコリー	44	444	さといも	34	360
キャベツ	220	9,488	だいこん	33	1,231	ねぎ	32	670
さといも	211	2,135	ばれいしょ	32	590	はくさい	30	1,452
ブロッコリー	202	2,086	ほうれんそう	24	277	タケノコ	28	140
とうもろこし	178	1,639	ねぎ	21	385	ほうれんそう	25	290
かんしょ	161	2,348	トマト	16	776	かんしょ	23	396
ねぎ	156	3,137	かんしょ	14	208	きゅうり	21	543

南多摩計			北多摩計			島しょ計		
品目	面積(ha)	収穫量(t)	品目	面積(ha)	収穫量(t)	品目	面積(ha)	収穫量(t)
ばれいしょ	81	1,671	ほうれんそう	203	2,343	あしたば	92	1,312
ほうれんそう	79	922	こまつな	140	2,747	かんしょ	35	275
だいこん	72	3,112	ブロッコリー	112	1,158	ばれいしょ	17	244
こまつな	67	1,283	キャベツ	101	4,376	さといも	15	93
タケノコ	54	272	ばれいしょ	99	1,982	たまねぎ	6	182
さといも	53	560	だいこん	98	4,173	さやえんどう	6	35
ねぎ	48	985	さといも	95	986	だいこん	5	128
かんしょ	43	735	とうもろこし	77	704	すいか	5	94
とうもろこし	39	363	にんじん	73	2,648	トマト	3	163
トマト	36	2,516	えだまめ	69	674	きゅうり	3	59

東京都農作物生産状況調査結果概要

H24.7

区分	作付面積 (ha)	農業産出額 (千円)	農業産出額順位(野菜・果樹・花き・工芸農作物の順位のみ掲載)				
			1位品目	2位品目	3位品目	4位品目	5位品目
目黒区	4	2	トマト	なす	きゅうり	こまつな	ぶどう
中野区	5	2	トマト	カリフラワー	なす	ブロッコリー	ブルーベリー
大田区	3	1	シクラメン(鉢もの)	こまつな	ほうれんそう	パンジー・ピオラ(苗もの)	かんしょ
世田谷区	167	57	花き類	こまつな	トマト	ぶどう	えだまめ
杉並区	59	34	トマト	なす	えだまめ	かんしょ	ばれいしょ
板橋区	19	5	ぶどう	かんしょ	だいこん	ばれいしょ	えだまめ
練馬区	281	121	キャベツ	トマト	ぶどう	えだまめ	ブルーベリー
足立区	122	78	こまつな	えだまめ	ムラメ	きく(切花)	トマト
葛飾区	80	40	こまつな	えだまめ	トマト	ねぎ	キャベツ
江戸川区	189	148	こまつな	トマト	しんとり	えだまめ	たかな
特別区計	928	488	こまつな	トマト	えだまめ	キャベツ	ぶどう
青梅市	418	112	トマト	なす	ばれいしょ	ねぎ	きゅうり
福生市	10	5	トマト	かんしょ	パンジー・ピオラ(苗もの)	なす	サルビア(鉢もの)
あきる野市	310	108	トマト	なばな	なす	とうもろこし	ねぎ
羽村市	45	20	トマト	パンジー・ピオラ(苗もの)	ねぎ	なす	にんじん
瑞穂町	172	83	トマト	パンジー・ピオラ(苗もの)	なす	シクラメン(鉢もの)	きゅうり
日の出町	86	27	トマト	なばな	ブルーベリー	ばれいしょ	かんしょ
奥多摩町	33	18	わさび	みょうが	ばれいしょ	しいたけ	トマト
檜原村	35	15	ばれいしょ	みょうが	トマト	さくらそう(鉢もの)	わさび
西多摩計	1,109	386	トマト	なす	ばれいしょ	ねぎ	きゅうり
八王子市	787	267	トマト	こまつな	なす	ほうれんそう	だいこん
町田市	501	216	トマト	なす	ほうれんそう	こまつな	きゅうり
日野市	140	100	日本なし	トマト	ブルーベリー	なす	ぶどう
多摩市	33	13	トマト	ブルーベリー	なす	かんしょ	ばれいしょ
稲城市	134	136	日本なし	ぶどう	トマト	なす	かき
南多摩計	1,595	731	日本なし	トマト	なす	こまつな	ほうれんそう
立川市	358	108	トマト	ほうれんそう	こまつな	日本なし	うど
武蔵野市	46	24	トマト	日本なし	ぶどう	えだまめ	こまつな
三鷹市	212	91	トマト	ぶどう	なす	ブルーベリー	えだまめ
府中市	119	78	こまつな	日本なし	観葉鉢もの類	トマト	えだまめ
昭島市	61	32	日本なし	トマト	こまつな	パンジー・ピオラ(苗もの)	なす
調布市	161	72	トマト	こまつな	ぶどう	えだまめ	なす
小金井市	81	37	トマト	こまつな	なす	みずな	ほうれんそう
小平市	235	111	日本なし	トマト	ぶどう	えだまめ	こまつな
東村山市	170	86	日本なし	トマト	かんしょ	ぶどう	パンジー・ピオラ(苗もの)
国分寺市	165	64	トマト	ブルーベリー	なす	えだまめ	うど
国立市	44	15	こまつな	ほうれんそう	日本なし	トマト	なす
西東京市	181	106	トマト	こまつな	日本なし	キャベツ	ほうれんそう
狛江市	42	20	トマト	えだまめ	なす	ねぎ	こまつな
武蔵村山市	153	58	こまつな	ほうれんそう	トマト	日本なし	なす
東大和市	66	26	日本なし	トマト	ほうれんそう	だいこん	なす
清瀬市	232	88	ほうれんそう	にんじん	みずな	トマト	こまつな
東久留米市	205	90	ほうれんそう	トマト	こまつな	えだまめ	だいこん
北多摩計	2,530	1,108	トマト	日本なし	ほうれんそう	こまつな	えだまめ
多摩地域計	5,235	2,225	トマト	日本なし	こまつな	ほうれんそう	なす
大島町	235	45	ツバキ(実)	ブアルディア(切花)	あしたば	アスパラガス(切葉)	ガーベラ(切花)
利島村	159	9	ツバキ(実)	しどけ	あしたば	サクユリ(球根)	-
新島村	32	18	あしたば	かんしょ	ルスカス(切葉)	レザーファン(切葉)	たまねぎ
神津島村	23	16	あしたば	レザーファン(切葉)	ミニトマト	トマト	かんしょ
三宅村	43	29	あしたば	レザーファン(切葉)	ドラセナ(切葉)	キキョウラン(切葉)	かんしょ
御蔵島村	7	2	あしたば	エビネラン(鉢もの)	-	-	-
八丈町	382	185	フェニックス・ロベレニー(切葉)	あしたば	フリージア(球根切花)	フェニックス・ロベレニー(観葉鉢もの)	レザーファン(切葉)
青ヶ島村	19	4	フェニックス・ロベレニー(切葉)	かんしょ	キキョウラン(切葉)	さといも	とうがらし
小笠原村	19	13	トマト	ミニトマト	パッションフルーツ	マンゴー	レモン
島しょ計	918	320	フェニックス・ロベレニー(切葉)	あしたば	レザーファン(切葉)	ツバキ(実)	フリージア(球根切花)
東京都計	7,080	3,033	トマト	こまつな	日本なし	ほうれんそう	なす

※ 植木と畜産は除く

横浜市の農業施策・農委会活動など研究 東京都と神奈川県農委会職員研究会が初共催

農業委員会職員現地研究会開く

東京都農業委員会職員研究会（石田昭男会長）は、神奈川県農業委員会職員事務研究会（江成卓史会長）横浜支部と共催し、横浜市内で「農業委員会職員現地研究会」を開きました。

東京都と神奈川県農委会職員が共同して、都市農業について現地研究会を開くのは、はじめての試みとなりました。

研究会では、まず、横浜市の都市農業と農業施策について、同市の森能文係長より概要の説明がされ、特に、横浜市独自のゾーニングである農業専用地区（その後に農振農用地の指定を受ける）の取り



横浜市農業委員会の取り組みについて説明を受ける

町は「農」の資源を町の地域資源としてとらえ、市民全体で維持、発展させるとともに、環境、福祉、教育、産業など、様々なまちづくりを生かしていこうと考え、「農のあるまちづくり」を推進しています。

宮代町では「農」の資源を町の地域資源としてとらえ、市民全体で維持、発展させるとともに、環境、福祉、教育、産業など、様々なまちづくりを生かしていこうと考え、「農のあるまちづくり」を推進しています。

埼玉県宮代町の「農のあるまちづくり」など研究 女性農業委員・職員現地研究会

女性農業委員・職員現地研究会

都農業会議はこのほど、埼玉県宮代町において女性農業委員職員現地研究会を開きました。

都内9区市から女性農業委員が6人、農業委員会事務局の女性職員が3人参加しました。



舞岡ふるさと村の取り組みなど説明する江成係長（神奈川県農委会事務局研究会長）

に生産緑地の面積が減少に転じており、その対策として生産緑地の追加指定を進めていること、また、農地利用状況調査の進め方などについて話



宮代町の「農のあるまちづくり」について説明を受ける参加者

一行は中心施設である「新しい村」を訪れ、町の職員から取組の経過や、同町農業委員会における遊休農地解消活動について説明を受けました。

また、新しい村のなかに整備された直売所やハーブ園、復元水田などを見学しました。

写真の撮り方や誌面デザインなど研究 広報研究会開く

広報研究会開く

都農業会議はこのほど、農業委員会における情報活動を推進するため広報研究会を開きました。

農業委員会だよりの発行に携わる農業委員や職員ら約60人が参加しました。

研修では写真家の高橋淳子氏とデザイナーの江藤梢氏を講師に迎え、農業委員会だよりに使うための写真の撮り方

都市農業を巡る情勢や農地制度について研修 都内4地区で農業委員研修会開く

都内4地区で農業委員研修会開く

東京都農業会議は、8月に都内4地区において、農業委員研修会を開きました。研修会では、①都市農業を巡る情勢と対応、②東京農業の状況、③調査結果の概要（野菜生産農家の出荷と販売に関する調査・東京都農作物生産

の農地を存続させるために、農業専用地区の指定を受け、事業を導入しハム工房や野菜の集出荷施設を設置するなど積極的な農業経営を展開する一方で、住民が親しむ場や風景を提供する「舞岡ふるさと村」の状況を研究をしました。

や、誌面デザインのコツなどをテーマに実践的な講義を行いました。



写真を撮るコツを説明する高橋淳子氏

状況調査）、④農地法等改正以後の農地制度および都内農地等の状況についてを都農業会議より説明をしたほか、新・東京農業振興プランの概要について、東京都の担当職員が今後の都の農業施策の方向性を含め説明をしました。

永年勤続表彰・講演会開く

東京都農業委員会職員研究会（石田昭男会長）は、8月31日に、全体研究集会を南新宿ビルにて開きました。

はじめに、第38回永年勤続表彰を行い、会員6名が表彰されました。（写真）

引き続き、前工学院大学建築学科教授の東正則氏を講師に迎え「都市農業必要者保全責任の原則」をテーマに記念講演を開きました。

東氏は「都市農業の保全には不可欠な防災面からの視点

東京都への要請と意見交換を実施

東京都農業振興プランや、都内産農産物の放射性物質検査の状況などについてに説明を受けるとともに、都農林水産部の幹部らと地域農業をめぐる課題について幅広く意見交換を行いました。

東京都農業経営者クラブ

東京都農業振興プランや、都内産農産物の放射性物質検査の状況などについてに説明を受けるとともに、都農林水産部の幹部らと地域農業をめぐる課題について幅広く意見交換を行いました。



津国農林水産部長（左）に要望書を手渡す清水会長（右）

また、東京都が策定した

「食と農セミナー」を開きます

都農業経営者クラブと農業会議は、都市農業の未来を消費者と共に考える機会をつくるため、都消費者月間実行委員会と共催で「食と農セミナー」を開きます。

日時 平成24年11月27日（金）、午後2時より
会場 中野区・中野サン

プラザ13階コスモルーム
主な内容 ①青山侑氏（元都副知事・明治大学大学院教授）による講演「農業・農地とわたしたちの暮らし」、②農業者と消費者の意見交換会
参加を希望される方は区市町村の農業委員会事務局へお申し込みください。

が大事」と説きました。

表彰者は左記の6名です。

- 黒沼 順子（世田谷区）
- 松尾 勇（日の出町）
- 横井 陽子（八王子市）
- 富澤 浩（多摩市）
- 小山 慎一（東村山市）
- 峰岸 義治（清瀬市）



表彰を受ける日の出町の松尾勇さん（右）

清瀬市ひまわりフェスティバル開く

清瀬市では、このほど「清瀬ひまわりフェスティバル」を開きました。

これは、市民に都市農地を身近に感じてもらい、地域活性化に繋げようと「清瀬市農ある風景を守る会」が実施しているものです。

清瀬市農ある風景を守る会

3万5千人以上が訪れ、来場者は一面に広がる10万本のヒマワリを楽しんでいました。



多くの来場者をむかえたひまわり畑

武蔵野市でフォトコンテスト開く

武蔵野市農業委員会（井口良美会長）は、フォトコンテスト「武蔵野の“農”風景に写ッター」を開きました。

応募された同市の“農”に関する写真を審査し、11月の市報にて結果を公表する予定です。



審査員による審査の様子

10月～11月の日程

- 10・5（金）経営部会長研
- 10・17（水）常任会議員会議
- 10・19（金）農地流動化現地研
- 10月25日（木）～26日（金）会長現地研（岐阜市）
- 11・7（金）賛助員協議会
- 11・19（水）互選会
- 11・19（水）監査会
- 11・20（火）常任会議員会議
- 11・20（火）農業委員会
- 11・29（木）活動推進フォーラム
- 11・29（木）農業者年金制度研